

平成19年度「地域医療等社会的ニーズに対応した質の高い医療人養成推進プログラム」  
Q & A (追加版)

(テーマ共通)

Q 独創的な取組と他大学への普及が期待できる取組は相反するものと考えているが、どちらを優先すれば良いか。

A 現在、既に行われているような取組ではなく、テーマに沿った独創的かつ他大学への普及が可能な取組の開発を求めたい。

Q 過去の補助金採択実績や今年度の補助金応募状況が選定に影響することがあるのか。

A 補助金の採択実績や応募状況を確認するのは、一つの取組が複数の事業から補助金を重複して交付されることのないようにするためである。申請された取組が、他の補助金から交付を受けていない限り、内容本位の審査が行われ、選定には影響しない。

(テーマ「女性医師・看護師の臨床現場定着及び復帰支援」について)

Q テーマ「女性医師・看護師の臨床現場定着及び復帰支援」においては保育所の設置を中心とした取組が効果的と考えているがどうか。

A 本プログラムでは保育所の設置を主な目的とする取組は求めていない。あくまでも、教育的見地からのプログラム開発が目的である。ただし、補完的に保育所を活用することを否定するものではない。

(テーマ「臨床研究・研究支援人材の養成」について)

Q テーマ「臨床研究・研究支援人材の養成」について、養成対象者は学部学生、大学院生だけなのか。既に病院で勤務している者は対象とならないのか。

A 学部学生から既に病院で勤務している者まで広く対象となる。  
学部段階だけの取組もありうるし、学部から大学院、社会人までを通じた取組もありうる。また、一つの取組にいろいろな立場の者が参加していただくことも可能。

Q テーマ「臨床研究・研究支援人材の養成」は大学病院の中でシステムを作るために必要な者を養成することが目的なのか、それとも地域の中で地域の為のコーディネーターを地域を中心となって育成するような取組が目的なのか。

A これらのいずれか、又は両方を目的としたものである。また、量的な拡大もさることながら、現在、既にコーディネーターとして勤務されている方のさらなる質の向上を目的とした取組も対象となる。

Q テーマ「臨床研究・研究支援人材の養成」に応募する際、

文科省大学振興課が実施する

「グローバルCOE」

「特色ある大学教育支援プログラム」

「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」

ライフサイエンス課が実施する

「橋渡し研究支援推進プログラム」

厚生労働省研究開発振興課が実施する

「臨床研究基盤整備推進研究 医療機関における臨床研究実施基盤整備研究  
(19100101)」

「臨床研究基盤整備推進研究 臨床研究基盤をつくる教育プログラムの開発」

「治験拠点病院活性化事業」

等の関連事業との同時応募は可能なのか。応募はできても選定されないのか。

A 本プログラムに応募する取組と関連事業に応募した取組の内容や目標が異なり、執行対象も重複しないことが明らかである場合、関連事業で採択されている場合であっても本プログラムの選定対象となる。なお、必要に応じて関連事業申請書の内容確認を行うこととなるので留意されたい。